

公表:令和 7年 3月 31日

事業所名児童デイサービスいころ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	57.89	31.58	5.263		
	②	職員の配置数は適切であるか	84.21	15.79			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100	100		玄関は改修されたがそれ以外の場所も検討の余地はある。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	78.95	26.32	5.263	一部のスタッフは参加しているかわからないが全体的にアナウンスすべき	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			事業所として過剰サービスの部分は見直した方がよい(弁当箱・洗濯物洗い・物品預かり等)	状況に応じて てきぎサービス内容は 適正化していきます
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	84.21	15.79			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	63.16	36.84			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	84.21	15.79			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	94.74	5.263		今後も外部研修・支援者会議は推奨すべき。	

適切な支援の提供

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	73.68	15.79	10.53	一定の評価基準がない状態で支援計画を立案するには妥当性がない。	標準化されたアセスメントツールの活用を検討する
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	78.95	21.05			
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78.95	21.05		活動の幅が広がらないのは利用者の特性もあるのでクッキングは推奨すべき	
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	57.89	31.58	10.53	スケジュールが過密になりがちなので人員配置を工夫した方が理想と思う。	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	100			
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	94.74	5.263		特定のスタッフに負担がかかっていると思う	スタッフ間の負担が均一になるよう分担をおこなっていく

	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	63.16	36.84		何を持って振り返りとするのか あいまいに思える。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	94.74	5.263		記録が主観的な内容が目立つと思う。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	84.21	15.79		見えてこない。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100				
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100				
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100				
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100				
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100				
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	78.95	21.05		結果が分からない	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	47.37	31.58	21.05	特に必要ないと思う。	
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	73.68	73.68	5.263		
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100				

⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	57.89	36.84	5.263	ペアレントとトレーニングのスキルの持った職員が不在なのとスキルを身につける余裕がない。	研修を行うべきか検討していく
---	--	-------	-------	-------	---	----------------

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100					
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100					
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100				内容は問題ないかスタッフの参加がボランティアになっていたので負担が大きくなっている。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	100			理不尽な内容にも対応しているので十分だと思う。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	94.74	5.263			書面で行っているので問題ない。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100					
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100					
非常時	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	73.68	21.05	5.263		先日一人の外国人がやってきたので継続できればよい。	
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	89.47	10.53			防災マニュアルがあるのか確認したい。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	100			ショートステイでも行った方がよいと思う。	今後実施していく
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	100				

同等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	89.47	10.53		身体拘束に於いてはマンパワー不足の時間帯があるのはやむを得ない部分もあると思う	
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100				
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	73.68	21.05	5.263		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。